



苓北町議会だより

きずな



町木「ツバキ」

100

2017年1月20日発行
(平成29年)

●あなたと議会のかけ橋に

29年成人式

80人の若人の輝く未来を祈念する!!

▶意見発表の山下和仁くん



坂瀬川地区成人者24人



▶意見発表の高橋孝太郎くん



志岐地区成人者26人

▶意見発表の宮本奈津美さん



都呂々地区成人者14人



▲謝辞を述べる畑山未妃さん



富岡地区成人者16人

【主な内容】

- 議長挨拶 2
- 定例会など 3～6
- 一般質問 7～12
- 傍聴記 13

町花「はまゆう」



発行 苓北町議会 TEL35-1111 編集 広報特別委員会

議会の主な動き

平成28年9月～平成29年1月

9月

25日(日) 町民体育祭〈坂瀬川・都呂々〉

2日(日) 町民体育祭〈志岐・富岡〉

6日(木) 天草西海岸秋の窯元めぐり開会式

13日(木) 県議長会 議員研修会
(菊陽町図書館ホール) 全員出席

10月

15日(土) 第6回 志岐氏サミット
(志岐集会所)

23日(日) 吟詠大会(志岐集会所)
錦戸、高戸、松野、倉田、石田、浜口、
田嶋、山下

30日(日) 雲仙天草国立公園60周年記念式典
(富岡城二の丸広場) 全議員

11月

14日(月) 議会広報研修会(菊陽町図書館ホール)

27日(日) 関東ふるさと苓北会
正副議長、田嶋、浜口、松野、野崎

28日(月) 東洋冷蔵株式会社 訪問
正副議長、田嶋、浜口、松野、野崎

30日(水) 苓北町商工会との意見交換会
商工会 全員出席

12月

13日(火) 平成28年第11回議会定例会(1日目)

14日(水) 平成28年第11回議会定例会(2日目)

14日(水) 議員全体会

14日(水) 議会活性化等検討特別委員会

1月

4日(火) 成人式

8日(水) 出初め式

議会広報特別委員会 12月14日・22日・1月6日・13日

議事録は『**苓北町役場ホームページ**』

<http://reihoku-kumamoto.jp/gikai-gijiroku/>

で閲覧できます。6月の第9回定例会まで議事録作成済み

次の定例会は
3月です。

皆様の傍聴をお待ちしております。
(12月定例会の傍聴者は男性47人、
女性12人、計59人でした。)
臨時会は不定期に開かれます。

**きずな・議会に
対するご意見を
お寄せください。**

連絡先：議会事務局 ☎35-1111

編集後記

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。
熊本地震から九カ月が経過しましたが被災地の生活、交通インフラの復旧はまだまだの感がぬぐえません。被災者の皆様に心からお見舞い申し上げ1日も早い復興をお祈りいたします。
さて、月日の経つのは早いもので、あっという間に1年が過ぎていきます。朝から通学する子供たちを見てみると、この前までランドセルしか見えなかったのにいつしか見える様な立派な体格に成長したくましくなっています。
ガンバレ子供たち！
町之宝物よ。
今年とり年です。勢よく、大きく、そして高く飛び立つことが出来ます。私たち議会も町民の皆様と行政と一体となって尚一層頑張ります。
今年も皆様にとって良い年であります様にお祈りいたします。

(広報委員会 浜口)

※として保存しました。

議会だより きずな

●発行／熊本市苓北町議会 〒863-2503 熊本市天草郡苓北町志岐660 TEL0969-35-1111
●印刷／株式会社印刷センター 〒863-2114 熊本市天草市五和町城河原2-73 TEL0969-28-6700

加しました。

11月14日

菊陽町・図書館ホール

議会広報研修会

(広報委員会 浜口)

熊本県町村議会議長会主催の熊本県町村議会広報研修会が開催され、苓北町議会から浜口委員長他5人の広報委員が参加しました。

二 演題

認知症対策

講師 熊本県健康福祉部 長寿社会局 課長 松尾俊司 氏

熊本県の

青山彰久 氏

三 パネルディスカッション

パレリスト

嘉島町議会 本田慎治 氏

熊本デザイン学校

堀川未樹 氏

大津町議会 松田純子 氏

あさぎり町議会橋本誠 氏

コーディネーター

熊日新聞社

NIE専門委員

越路慎一郎 氏

※感想 優秀作品を参考にしながら議会広報の趣旨に沿って精進すべきと感じました。

(広報委員会 浜口)



歌手と間違いました



大仁田会長あいさつ



全員で「ふるさと」を歌う



懇親会の模様

久しぶりい

関東ふるさと苓北会

11月27日(日) 11時15分から東京霞ヶ関東海大学校友会館で平成28年度関東ふるさと苓北会が開催され、議会から山本議長、錦戸副議長、松野、野崎、浜口、田嶋の6議員と、町から町長他職員二人が出席しました。

第1部の総会は、129人の会員等が参加され、山口徳吉さんの進行により、大仁田淳会長のあいさつに始まり、厳肅な中に田尻保徳事務局長の会務報告や雨森雅子、木村さよ子さんによる会計報告、大澤道代、吉田楨子さんの監査報告が満場一致で承認可決されました。

第2部の懇親会は、浜崎信也さんの司会で関西ふるさと苓北会副会長の山川建喜さんの乾杯に始まり懇談に花が咲き、詩吟、ダンス、カラオケ等で賑わい、福引大会の後、全員でふるさとの歌を歌い、津田志保子副会長の閉会の言葉で閉じました。

出席された皆さんの懇親が深まったと思います。

(広報委員会 浜口)



新年に寄せて

苓北町議会 議長

山本政人

明けましておめでとうござい
ます。皆様には、ご家族お揃いで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年といえば忘れられ

ないのが、熊本市周辺を中心とする未曾有の大地震でした。お亡くなりになった方々と被災された皆様方に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

海外では、アメリカ次期大統領選挙で大方の予想を覆してトランプ氏が当選しました。そのトランプ氏、つい先日我が国の自動車業界を批判し企業介入の姿勢が見えると報道されています。また、「TPP」(環太平洋経済連携協定)についても、すでに脱退を表明しており、我が国政権とは大いに異なる考え方であり、トランプ氏が実際に大統領に着任してみなければ我が国経済にどのような影響があるのか判断は難しい状況であると思われる見られています。一方、天草においては天草島民の最大の願望である「天草⇄熊本」間の高規格道路の整備が進み、第二天門橋のアーチ部分が接続され、道路本体の工事が平成29年度末(平成30年3月)までには完成の予定です。未完成の陸路の部分も含めて全線の早期竣工が望まれます。

さて、私達の議会は先に「町民皆様方に身近な信頼される議会」を目指すため、「苓北町議会活性化等検討特

別委員会」を立ち上げ、その一環としてアンケート調査を実施し皆様方にご協力を頂きました。(結果については昨年の12月「きずな特別号」として皆様方に配付済)

その結果、貴重なご意見を頂きましたが、中でも「議員としての資質」について手厳しい指摘がなされました。大いに反省をし、自己研鑽を積みまなければならないと自覚したところです。

この活性化、これから具体的に検討を加えて「町民に開かれた議会」「町民の皆様信頼される議会」を目指します。そして、今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。

結びに、皆様方の益々のご健勝と苓北町のさらなる発展を心よりご祈念申し上げます。の挨拶とさせていただきます。

平成二十九年 元旦



副議長 錦戸俊春



議員 倉田 明



議員 松野重幸



議員 高戸幸雄



議員 廣田幸英



議員 松本良人



議員 山下時義
(議席番号順)



議員 田嶋豊昭



議員 浜口雅英



議員 野崎幸洋



議員 石田みどり

どうなるマグロ養殖

東洋冷蔵を会社訪問

11月28日（月）山本議長、錦戸副議長、松野、野崎、浜口、田嶋の6議員により本町へのマグロ養殖の企業誘致のため、東京都江東区の東洋冷蔵を会社訪問しました。執行部から田嶋町長他2人の職員も同行。

東洋冷蔵からは、川上社長、中須常務、吉田執行役員の三氏と懇談しました。

懇談の内容は、「マグロの養殖事業は、世界的な資源管理の中で稚魚の採取が制限され、国も養殖に消極的。卵からの、完全養殖もヨコワまで成長させ、出荷までの歩留まりが約15%位。採算ベースは非常に厳しい」とのこと。

（広報委員会 田嶋）



懇談する東洋冷蔵の三氏と訪問者



商工会との懇談会

商工会事務所

11月30日

出席者

商工会

岩下会長他役員17人

議会

山本議長他11人（全員）

意見交換

一 地域の活性化

（一）お城祭りの開催について商工会から提案

1 29年10月29日（土）に開催予定

2 毎年開催したい。

3 付随するイベントを検討中。

4 祭開催の宣伝の在り方。

5 地元の盛り上がりが絶対必要。

二 その他

（一）将来を見据えた施策

（二）高規格道路早期実現

岩下会長

若い人が返ってくる「魅力ある町づくり」に頑張っていきたい。

（広報委員会 松本）

平成28年

第11回定例会

2日目 12月14日

報告第9号（報告）

例月現金出納検査の結果報告

告

（平成28年度8月分・9月分・10月分）

（質疑）なし

報告第10号（報告）

平成28年度

定期監査の結果報告

（説明）

自治法199条第4項の規定に基づき平成28年度財務、経営、管理、運営等について監査を実施したので公表する。

町への要望事項

1 税金等の滞納整理は今後関係課の連携を強化し滞納整理に取り組み、納税者等に不公平感を持たれることがないよう。

2 住宅施策管理は効率的に推進するため一本化できないか。

3 イノシシ駆除は捕獲後の処分方法に検討を。

4 本庁をはじめ町有施設に防犯カメラの設置の検討を。

5 消防設備施設の維持管理は緊急時に支障を来たさぬように点検管理を十分に。

6 廃校になった中学校備品の処分は有効かつ適切に。

7 学校の薬品管理は危険防

ます。

よって私は、本議案に対して、賛成の立場で、討論を行います。以上です。

原案に賛成

野崎

原案に反対の立場で、討論を致します。

昨日、大手門の整備計画を、一般質問や全員協議会でお聞きしたところ、しばらくは、車両通行は出来るが、門については住民からの合意が得られたと判断した時点で行う予定であり、ユニット式にするのか、他の方法で行うか、まだ、決まっていない。

等、あいまいな答弁でありました。この様に、最終的な計画案が示されていない状況であります。これまでの地元住民説明会でも、反対の意見が多く上がっております。

そして、また、昨日の国民健康保険の基金が29年度には底を突き、町民皆様への負担をお願いしなければならぬ大変厳しい状況になったとの説明もありました。これから、起債までして行う事業

止のため適正な管理を。
8 水道の有収率の低い施設は原因を調査し改善を。

議案第57号（原案）
平成28年度一般会計補正予算（第4号）

（説明）
小路川河川災害防止対策事業に関する国庫補助金の確定等により、歳入歳出にそれぞれ7千263万9千円を追加し、総額を56億8千1万円とする。

議案第58号（原案）

平成28年度坂瀬川財産区特別会計補正予算（第1号）

（説明）

繰越金の確定等により、歳入歳出にそれぞれ34万2千円を追加し、総額を1千687万2千円とする。

議案第59号（原案）

平成28年度都呂々財産区特別会計補正予算（第1号）

（説明）

間伐事業による配当金及び立木売り払い収入等により、歳入歳出にそれぞれ4

は、極力見合わせるべきだと思っております。

この様な状況の中で、今回、請負契約締結の、議案について、賛成する事は出来ません。よって原案に反対であります。

原案に賛成

松野

私は、原案に賛成します。観光行政、特に崎津の世界遺産の問題に絡んで長崎、外国から注目を浴びております。

そういう中で、観光、観光と言いましても、茶北町の観光は本当に、微々たるものだ。やはり、何か積極的に、自分たちで観光を、作っていかなければ、今のままでは、無駄な投資だと言いたって、絶望しながらやっていったって、絶対、崎津の観光、世界遺産を、有効に、活用する事は出来ません。ましてや、富岡の旅館、一軒一軒とつぶれております。宿泊施設の誘致も叫ばれております。

形として現れている歴史的な、価値がある所には、町の

7万円を追加し、総額を4千633万5千円とする。

議案第60号（原案）

平成28年度介護保険特別会計補正予算（第2号）

（説明）

一般高齢者介護予防通所事業の減。嘱託職員報酬の減額等により、歳入歳出をそれぞれ265万8千円減額し、総額を8億9千342万4千円とする。

議案第61号（原案）

平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

（説明）

保険基盤安定基金の確定により、歳入歳出をそれぞれ39万2千円減額し、総額を1億1千92万8千円とする。

議案第62号（原案）

請負契約「富岡城新大手門広場整備工事」の締結

（説明）

1 工事名 富岡城新大手門広場整備工事

2 契約の方法

今、私たちが町民アンケートを実施しております。その中でも、大手門工事に対する反対の意見が一杯出てきております。

討論

原案に反対

石田

ここは、天草島原の乱の時に、一揆勢が、処刑された所、冬切りの処刑場という所の近くだという事もありま

す。崎津の世界遺産登録もされることでございますので、冬切りの処刑場とか、茶洋高校の宿舍の所の処刑場跡のそういう所なんかを重点に、観光化していただいて、崎津の、キシタンの所と、かみ

合わせた、千人塚も整備されるという事でございますので、そういう事を、やっていただきたい。

今ですね、これだけの、お金をかけて、やるのであれば、そういう所へ使って、いただきたいというふうに思います。

反対です。

原案に賛成

山下

私は、原案に賛成の立場で、討論を行います。

富岡城本丸、二の丸広場の整備、あるいは、ため池です。ね、石垣の整備、築地塀等の整備が行われ、都市再生事業整備の一環として、大手門広場が整備されております。大手門は城の正面であります。城の大手門はですね、敵の攻撃を防ぐ塞ぐ頑固な建物が、大手門とされております。

今回の提案は、その整備の一環として、堀切の、矢来垣、あるいは、石積み工事、東側の石垣工事等々、復元工事に可能な工事の提案であり

金を使って、観光施設として、どんな積極的に取り上げていく、そういう策も必要ではないかと考えております。

観光の面で起爆剤になればという事で、私は、本案については賛成の討論を致します。

原案に反対

高戸

私は、反対の立場で、本討論会に参加をいたします。

先日、14日から、現地説明会が富岡の4地区によって、開催をされました。私も3会場に参加をさせていただきました。賛成反対それぞれ、意見が出ております。それを受けて、一定期間、期間を置いて、会場で出された、内容について、検討する機会が、必要ではなからうかなあと思っております。

しかしながら、大手門がもう既に、計画の中で、出来上がったあのような図面を、出されますと、やはり、町道は通れないんだなと思える町民の方々がほとんどだろうと

思います。

よって、あまりにも今回提出された請負契約は拙速し過ぎだと思っております。私は、反対の立場で、この、請負契約には反対をいたしたいと思えます。以上です。

原案に反対

浜口

原案に反対。

人口減少が進み町の財政、運営規模は住民生活に支障のない範囲で縮小せざるを得ない。国保特別会計は危機的状況。水道、下水等の公共施設の適切な維持管理の為に税金の経常的な支出が求められる。

孫、子に維持費の付けを残す箱物行政に取り組むべきでない。箱物は必要最小限に抑え税金投入の費用対効果を見極めながら、町民の生活環境の保全を最優先すべき。

富岡地区説明会には多くの出席者。大手門建設により当該箇所は歩行者専用道路。バス、自動車は迂回路。その後中央町道は残すと説明。東側工事は現道に大きく入り道路

の機能を阻害。既設側溝の終末処理も示されていない。12月13日の説明では、史実に忠実と言いつつ西側石垣は2段を無くした。背面は当時ケンチ石積みが主流か。堀切は周辺土地の液状化に対する対策も不明確。

道が通れるとか、通れないとかその場その場の泥縄式の公共工事。

原案に反対

松本

反対の立場で、ご意見を申し上げます。

今、数名の方が、反対の意見を述べられました。私も、全くその通りだと思います。

ただ、一件気にする所がございますので申し上げます。先程も、質問いたしましたけれども、要するにこのまま置いておくということであればやはり、東側の石垣の背面（こぐち止め等計上）なんかは、整備をし直して、又今までのくらかやってきておられますので、そこら辺のやり残しは幾らかやってほしい。

この工事と抱き合わせてや

る。足踏みをすると言うことです。ですので、もう一回設計を見直していただいて、再度、伺いをしていただければなあと思います。

やはり、茶北町民の意見も必ず聞いていただく。それで、私は今回の分については反対をいたします。

採決

賛成Ⅱ6

廣田、松野、倉田、田嶋、山下、錦戸

反対Ⅱ5

松本、高戸、石田、野崎、浜口

発議第2号（原案可決）

「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書」の提出について

発議者、山下時義
賛成者、田嶋豊昭
賛成者、野崎幸洋

【提案理由】

現在全国の町村議会が抱えている問題
地方議会の、重要性が、論じられるなか、町村議会は議員のなり手不足が深刻化して

いる。

選挙においても、無投票の町村議会が多くなり、定数割れ町村議会も発生している。そこで、地方議会議員の年金制度を時代にあわせてのものにする事で、幅広い層の政治参加や、新たな人材確保につなげるため、地方議会議員の、厚生年金制度加入のための、法案整備を早急に実現する様、国への意見書の提出を提案する

提出者…議会議長、山本政人
提出先
衆議院議長大島理森様。
参議院議長伊達忠一様。
総理大臣安倍晋三様。

他

採決

賛成Ⅱ10

松本、廣田、高戸、松野、倉田、石田、野崎、田嶋、山下、錦戸

反対Ⅱ1

浜口

（広報委員会 高戸）

一般質問（6議員登壇）



浜口雅英 議員

一、防災対策

（一）消防関係施設の整備

消防倉庫の機能の無い箇所。①倉庫の入り口の山側が崩壊しそう。②コンクリート製の消防倉庫の天井のコンクリートが剥離し落下。

③団員の会議室が無いが必要性は。既設の会議室、休憩室の冷暖房施設不十分。

町長 危険性のある倉庫は今後補助金や緊急防災減災事業債等を活用し年次計画により随時詰所を備えた倉庫に改築したい。設備が不十分な箇所は確認のうえ対応する。

問 西川内の消防倉庫は交通の便が良い所へ移設を。新年度の1番目に挙げるべき。

（二）海岸高潮対策への対応

問 高潮対策に消波ブロックが設置されてから数十年経過しているが据え直しは。

国道背後地と民家の間に大きな水路が放置。地域住民の安寧の為に何らかの安全対策を。県は国道のパラペット等は整備済と認識。現在は安定している。大きな水路は再調査、確認し危険表示の設置や転落防止柵の設置等行う。

問 竹の迫、富岡西、東、志岐の海岸にかけて緩傾斜階段護岸が建設され一部には植栽も施工。荒天時の波しぶきを防いでいる。この工法を上津深江から坂瀬川の海岸への検討は。

土木課長

波返しのパラペット、消波ブロックで整備済み。全て県の管理。県へ要望を行っていく。

町長

町以外の管理でも住んの金を引き出して来るかが政治力の一つ。住民の生活の安寧を一番に考え予算要求を。

二、28年度行政の執行状況と29年度予算の編成

（一）28年度行政執行状況

問 造成事業で5千㎡という膨大な土砂が余った。今後は現場条件の把握に努め手戻り等無い様に

町長

する。

問 都市再生整備計画の事業費の合計は16億4百万円。同事業以前にも16年、17年に2億3千4百万円の事業を実施。3期計画として大手門広場築地堀等に2億1千万円、その他と合計5億円の事業。既存の道路網を分断する大手門整備という富岡城復元の箱物行政は今後の維持費が懸念され無駄。人口の減少が進み自治体の運営規模は住民生活に支障のない範囲で縮小せざるを得ない。必要最小限の経費で町政を運営する必要あり。孫、子、後世に維持管理の付けを残す事になる箱物行政に取り組むべきでない。都市再生整備計画は取り止めるべき。

土木課長

第3期都市再生整備計画事業は平成28年度から32年度までの5ヶ年総事業費5億円。国費40%残りは起債。交付税補填が元利とも2割。内外に積極的にPRする事で交流人口観光客の増加が実現。宿泊、観光客が相当増える。都市再生整備計画を推進させていただきます。

町長

現状宿泊施設は茶北火電の定修もある。どの様に

町長



倉田 明 議員

第3期富岡志岐地区都市再生整備計画事業

平成28年度から32年度の事業費5億円のうち国4割補助2億円

富岡城新大手門櫓は設置せず 人も車も通行すべきでは

12月議会の請負契約「石垣工事は道路には入っていない」と町長

問 この新大手門に関し、先の11月14日を皮切りに4日4会場の富岡地区住民説明会では、工事費2億1,150万円。その工事行程は。また、史実に基づいた大手門復元計画に伴い、警察署、産交バス会社等との協議の中、地元理解が必要とのこと。計画案が示された。

交通安全上、車両は通行禁止で歩行者専用道新設案に色々と質疑応答があったが、意見集約をどう評価するのか。

町長 平成28年度は、明日、請負契約締結の提案は、東西石垣の整備、西側堀切の整備等。29年度は、西側石垣の築地堀整備。電柱の移設整備等。30年度大手門整備に係る実施設計等。31年度から32年度にかけ大手門整備等を予定している。

また、富岡地区説明会での住民の意見は大変貴重なものと受け止めている。

中央道路を遮断することにより多数の方が心配されている。当面は、車両が通行できるようにスペースを確保しつつ、迂回路については、住民の皆

様にご理解いただけるよう更に検討し整備を進めたい。

問 計画では、現在の町道敷きに新大手門を設置し、歩行者専用道を設け、車両は通行禁止とし、迂回路案が示されているが、私は8月29日の議員全体会で町説明に対し、現在、整備中の東側大手門石垣工事は現状程度に留め、道路を跨ぐ門的構造物は別問題。という旨の発言を致した。

そこで今回、必要とあるならば町計画と異なるが、留めた石垣の延長線西側にある現在の石垣に、3m程町道側に継ぎ出し、東西左右上部に高さ2～3mの石・または木製の櫓的ものを設置することで、道路上を跨ぐ門の構造物を設置することなく、現在の道路と空き地を整備することで、更に道路幅も確保され、今以上に見通しも改善され、車両や歩行人も安全で安心して通行できるが、町の見解は。

町長 確かに提案では、車両等の通行は確保できるが、やはり、大手門の整備は必要だと考えているので、整備する方向で柔軟性を持ち検討さ

せていただきたい。

再問 私はやはり住民の声を重んじてやった方が、将来に禍根を残さずに済むんじゃないかと。一部には門を作ってもとの意見もあったが、一番大事なのは住民の意見だと思う。

問 私は27年12月定例会で「公園西側には当時的大手門石垣が西海岸の国道まで続き、公園隣接地から国道まで民家2軒がある。第3期計画ではそれ以上の整備が示されていないが」との質問に対し、町は「ご指摘の民家がある部分は、今回の計画には含まれず、『富岡城復元基本計画報告書』の大手門から西海岸までの石垣全体を見渡せるような基本設計とは異なる場合がある」との答弁だった。

今日まで大手門整備工事には近隣住民等のご理解とご協力をいただき整備されているが、周辺道路網の交通事情や歴史的公園建設の見地から、当初計画区域内の土地所有者に、改めてご理解とご協力を相談される考えはないか。

勿論、財政や土地所有者の

想い、お考え等もあらわれるが、ご検討をお願いしたい。

町長 今後、財源の確保等の課題もあるが、地権者の皆様へご理解とご協力をいただけるよう努力したい。

問 第3期事業計画の優先的整備行程。追手門カーブ百間土手の道路幅確保は。

町長 平成29年度に二の丸広場の築地堀整備、志岐城記念広場整備、切支丹供養碑千人塚公園駐車場整備、観光案内板整備及び観光情報発信事業。平成30年度に富岡港キーステーション整備。31年度に追手門公園整備を予定。

新大手門広場整備は継続して整備を行い、32年度完成予定としている。

また、30年7月に登録を指している「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」に合わせ早急に整備する必要もあり、国の補正予定等の経済対策があれば、前倒しで整備を進めたい。

追手門カーブの道路幅改修は、門整備事業の計画範囲に一部含まれるため、計画作成時に改修に向け検討したい。



松本良人 議員

これまでの要望は、平成二九年度の予算にどう反映されるか

問 毎回、町民の声を議会（一般質問、各種委員会）を通して、行政に数々の要望して来た。平成29年度の予算にどう反映されるか

① 一般質問から

二七年三月議会（第二回）

● 過疎集落対策について

● 新年度からの対策は？

● 人口減少対策は？

二七年六月議会（第三回）

○ 防災対策対策（防災対策は、津波だけではない）は？。

○ 公共工事と地元産業の育成について

○ 建築工事の、請負業者選定は技能、技術者を加味した選定が行われているのか？

二七年九月議会（第四回）

○ 中学校現況と問題点は？

○ T P P 交渉をひかえ農林業

への新しい施策は

● 農地の荒廃対策を含めた新しい考えは？

二七年一二月議会（第六回）

○ 建築工事等の工事請負、委託事業等における審査、管理監督について

● 現状と、新年度からの考えは（委託設計者と監理委託者の分断は）

● 町職員による、審査、監理は、行われるのか？

二八年三月議会（第八回）

○ 富岡城復元基本計画に伴う町道富岡中央線について

○ 巡回バスの機能拡充は

二八年六月議会（第九回）

○ 地震によるダム等関連施設の安全性については？

● 態勢はとられてないと言うことであつた。避難道の整備と、避難態勢の早急な実施を要望したが、対策は？

○ 都呂々中学校跡地、施設の有効活用、進捗状況は

○ 熊本震災の支援として議員報酬、町長等特別職の給料を減額し、義援金として活用は（考えていないと言う事であつたが、29年度においても考えはないか？）

二八年九月議会（第一〇回）

○ 長崎自動車道から島原半島、口之津までの高速道路の実現に向けて3県連携の上、努力してほしい。

○ 富岡巴湾及び周辺地域の暴風、防潮対策については？

● 住環境、生命財産にも影響する。県や国等にも働きかけを行い、早急な対応を

○ 土砂災害警戒区域等法律制定に伴う固定資産評価、課税減税二九年度の予定は？

② 建設経済常任委員会

意見・要望（二七年六月）

1 町道多田羅線の改良

2 県道都呂々宮地岳線改良

3 町内県、町管理を問わずすべての河川の災害箇所点検

4 町道八久保線の舗装

5 その他

③ 予算、決算委員会等

○ 二七年九月議会決算特別委員会からの要望事項の中で

● 巡回バス運行等については、効率的な運行を。

● 職員の専門的技術を含めた資質向上に努められたい。（監査委員会からも同じような要望があっているが）

● 河川については、災害防止

のため適正な維持管理と共に、総合的な調査検討を。

○ 国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療保険、それぞれ特別会計に「健康保持増進の取り組みの強化」

○ 町道濁渕線舗装について

○ トイレについて

● 高齢者が増加する中、公共施設に洋式、数等の検討、交通安全対策について

● 坂瀬川西河内の国道324号線横断歩道の設置は

● 停止線、路側帯、中央線が消えている所があるが？

● 都呂々宮地岳線と狸川内線との交差点から保育園までの歩道の改修は（近年2件人身事故があつているが）

○ 都呂々川（多田羅）の消防水利兼河川管理道路が危険である。防護策の設置は？

○ 地方バス運行補助金の内、富岡下田間の補助金相当分は、都呂々方面巡回バスに当てるべきでは。

○ 各種の積算、管理関係、維持管理、電算等 業務委託の見直しは

○ 起債残高は平成二六年度七、六三九、四七八千円、平成

二七年度七、八八八、九一六千円となっている。平成二八年度の精算見込み額と、新年度（今後）の状況は？

町長 平成二八年度起債残高見込み額八億一、九〇七万三千円。

七千立米の廃土を九電が無償で引き取る理由は？

問 拠点避難地造成工事において発生した、七千立米の廃土が九州電力に無償で引き取られると言う事は、事実か？事実なら、その経過と詳細な理由等をお尋ねする。

町長 施工した茶北町拠点避難地の造成工事において五千立米を超える残土が発生し、計画より高く盛り土をした。

その後、サッカー場整備工事において発生した分を加え約八千立米の残土処理が必要となった。

九州電力に申し入れを行い、土砂を引き取っていただくことにした。



野崎 幸洋 議員

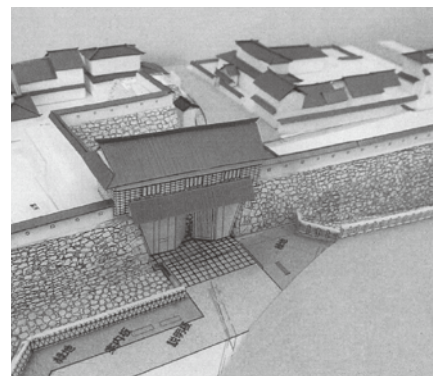
1、富岡城新大手門広場整備事業計画 ◎地元説明会後の町の対応について 2、町長マニフェストの進捗状況について

問 大手門を整備するにあたり、町道富岡中央線は、2丁目、3丁目間の車両通行ができなくなる。そのため、天草警察署より、「地元住民の合意を得るよう」との指導があり、富岡地区を対象に4公民館において、担当課より、大手門整備事業計画の説明会が行われた。地元住民からどのような意見が上がったのか？

また、住民の意見や要望に対し、今後町としてどのような対処をされるのか？

「警察より合意を得るよう」との指導に対し町は最終的にどのようなようにして、合意を得たと判断されるのか？

町長 地元説明会でいただいた様々な意見、ご指摘の主なものとしては、「富岡中央線で唯一簡単に離合ができる箇所を通行止めにするのは反対である。」「東側石垣はそのままに、通行止めにならない整備はできないのか。」「東西どちらのう回路も幅員が狭く危険である、拡幅整備はできないか。」「バス路線を国道側にした場合、バス停の風雨



対策が必要である。」「東側う回路については、もっと別の場所を検討してはどうか。」「近隣に空き地があるので東側う回路として検討してもらいたい。」「住民の合意形成はなにをもつてするのか。」「合意形成については、もっと多くの住民の参加と判断が必要ではないか。」「事業の費用対効果については検討されたか。」「等の意見をいただいた。当面は、車両が通行できるスペースを確保しつつ、う回路については、更に検討を行いながら整備を進めて行く。合意形成については、地元住民皆様の賛意が必要と考えているので、引き続き、ご理解とご協力が得られるよう説明を続けて行こうと考えている。

問 茶北町の町長として、今期で、7期目の町政を担っておられる訳ですが、その7期目もやがて2年目を終えようとしている。

平成27年1月、今期の選挙を迎えるにあたり、町民に対し5つの公約(マニフェスト)を掲げられた。1)ふるさと介護の実現、2)マグロ養殖基地の実現、3)世界遺産登録実現による交流人口の増大、4)農林業・漁業が元気なまちづくり、5)子育て支援に全力投球します！

町政7期目も約2年が過ぎ、この公約(町民との約束)の達成状況は？

町長 1)今年8月に養護老人ホーム「寿康園」の跡地に、介護認定を受けない健康な段階から入所できる、有料老人ホームが開設された。この施設は、住所地利特例(介護費用は従前の自治体負担のため茶北町の負担はない)となっている。29年度には認知症グループホームが整備予定になっているほか今後、高額所得者向けの有料老人ホームの整備も計画されている。

2) マグロ養殖進出計画の会社の話では、現在、卵から養殖できる大きさの「よこわ」まで育てる技術が、民間企業で採算の採れる状況まで至っていないとの事。今後、完全養殖の技術が確立すれば進出したい意向である。

3) 今後、天草市と協力・連携し「天草世界遺産登録推進連絡会議」を組織し茶北町の施設整備、情報発信等を行いたい町に訪れていただくよう図って行く。

4) 1次産業においては、従事者の高齢化と後継者問題、中山間農地の維持や漁獲量の減少等大きな問題があるが、今後も、関係団体や従事者の方々からお知恵をいただき工夫しながらしっかりと取り組んで行く。

5) 保育料は、国基準を大きく下回る額を設定し、誕生祝金、入学準備金の支給、中学校まで医療費無料をおこなっている。



石田 みどり 議員

1. 働き方、働かせ方について 2. 農業の振興と鳥獣対策 3. 住民説明会のもち方について

問 近年サービス残業や長時間労働等での過労死や過労自殺が社会問題になっている。また、うつ病等を発症する人も増えていると聞かす。茶北町の企業や職場で問題は出ていないのか。また、役場の前を夜通ると執務室の明かりがついているが、役場職員の働き方はどうなっているのか。休暇の取得率は。

町長 サービス残業や長時間労働について、町内の病院や施設にも尋ねたが、緊急時等は残業になる場合もあるが、恒常的には残業もサービス残業もないとのことであった。また、役場の状況についても、残業を行う場合、事前に時間外勤務の申請を行い課長を通じて、決裁を受け実施している。法定労働時間を超える時間外労働は禁止されている。災害等の非常時の対応や選挙事務、公務のための臨時に必要がある場合等は特別に認められている。また、病気による休暇等の状況は現在、一名が私傷病のため休職している。非正規職員の休暇については、一般職員の年次

休暇の規定に準ずる年次有給休暇、国の非常勤職員に準じた有給休暇を取得できる。非常勤職員の二七年度の有給取得率は60・7%である。

再問 正規職員の休暇の取得率は。

総務課長 常勤一般職24・6% 現業37・5%

問 町の振興計画にも掲げられているが、新規就業者移住定住の農業者への支援、今年新規就業者、移住定住をして農業をされた人はおられたのか。また、新規就業者や後継者を確保支援する体制作りや展望はどうなのか。特産物の開発や農産物のブランド化、販路拡大はすすんでいるのか。特産品開発には町の補助は考えていないのか。農業をなんとかしたいと頑張っている人たちが何人も意欲を持った人たちが何人もいるので、町としても支援してもらいたい。大型箱物工事はやめにして農業の振興を本気で考えて欲しい。鳥獣対策については猟友会に依頼しての捕獲の結果は。猪対策をどうにかしないと農業をする意欲もそぐわれると嘆いている

人も多い。知恵をしばって対策を考えて欲しい。

町長 今年度の新規就業者は親元就農者で後継者が二名のみ。新規就業者はいない。特産品の開発は生産から加工まで手がけ製造販売している農家四軒、果樹を活用した加工品を販売する製菓店が一軒ある。鳥獣対策では猟友会での猪の捕獲は7月31日～8月4日二頭、11月5日～11月26日三頭の実績だが、追い払う効果も含めて一定の効果はあったと思っている。

再問 二江はイルカパークという道の駅ができる予定。茶北町も大型の直売所を考えていないのか。町民の声としても出ている。物産館の検討も含め観光客に金を落とすしてもらいたい町民がうるおうような事も考えるべきでは。

町長 直売体制の今後の計画については、生鮮野菜や果樹に限らず、水産物においても特産品販売対策補助金を活用してもらい、特産品や加工品を開発していただきたい。町からの補助については今後検討したい。

問 住民説明会のもち方については、富岡地区の大手門建設事業に関連して、交通の説明会時、町長副町長不在であるのになぜ開いたのか。急いでもたなければいけない理由があったのか。風力発電の件も議会の説明はいらなかったのか。

町長 富岡城大手門広場整備事業については、本年3月から4月にかけて富岡7行政区で説明会を実施した。その後警察や産交バスとの協議で計画を変更。変更については地元の合意が必要との事と十二月議会に説明をするために、議会前に説明会をもった。12月11日にも意見交換会を開いた。小型風力発電については新設する場合法的には、地元住民への説明は義務付けられていない。町有地に設置許可を出すうえで、地元には説明をする必要があると判断した。小型風力発電の設置は景観法に基づく届出のみが必要なので、議会には説明しなかった。

国民健康保険の現状 と今後について

問

国保税については、議会の中で、再三にわたり来年度、平成29年度は、保険税の引き上げもやむえない状況であると答弁がされている。また、国保の一部改正により、平成30年度から運営自体が県に移行されることが決定され着々と準備が成されているようである。先の議会に、27年度施策成果説明書の提出があった。税収納率向上のため税徴収強化月間の設定や多岐にわたる縮減対策については、敬意を表する。



高戸幸雄 議員

荅北町は、他の自治体と比較すると、恵まれた医療施設の環境の中にあり、ゆえに医療費が高くなるのはある意味

当然のことと解する。長期間保険税率を据え置きし歳入の一部として基金を取り崩して充当されているようである。27年度決算に伴い1千300万円を基金とされているが、合計5千400万円相当額と大変厳しい状況ではないかと解している。28年度の現状は。

平成29年度は、荅北町が町として国保運営責任主体最後の年度である。予算編成の時期となったが、税率の引き上げを含め今後の方向性は。

なお、平成30年度は、県に移行するわけだが、現在取り組んでいる医療費適正化事業はどうなるのか。

町長

現状は、大変厳しい基盤となる。保険給付費も当初の予算を大きく上回り作年度と同程度の費用が予想される。このままでは、4千万円ほど不足する見込であり国保特別会計は、危機的状況である。不足分は、県から貸付金を借り入れられるよう手続き中である。29年度税率引

き上げについては、年明け算定をして税率を改定したい。しかし、単年度で引き上げると相当大きくなるので3カ年で引き上げを行いたい。また、県移行に伴う事業については、雇用の問題等もあるので今のところ考えていない。

平成29年度 予算編成について

問

29年度の予算編成の時期となった。4年の任期内2年が過ぎようとしている。振り返り事柄をみると、未来を見据えた投資も大切だが、現在の生活に密着した事業の推進がより大切であると感している。

平成27年度決算に伴い監査委員及び熊本県から意見書並びに概要が公表された。県下市町村の財政状況は、やや改善されたところ。荅北町の状況は、経常収支比率は減少したがいくつかの特殊な要因に起因するもので今後も軽減に努める必要があり実質公債費

率もわずかながら減少したものの相変わらず高位置にあり監査委員からも今後も近年の大規模開発による元金の増加が見込まれると指摘が成されている。以上のことを踏まえ重点施策事業内容を。

町長

現在、これまで取り組みできた事業の実績・効果等の検証や29年度における国・県補助金の動向等の情報収集を含め予算要求事業の編成作業を実施している。

再問

2月上旬に最終調整等を行い3月議会に提案の予定である。予算編成の重点取り組み事項は、①交流人口の拡大につながる施策 ②地域に於ける魅力ある多様な就業機会の創出等5つの重点事項に沿って振興計画とすりあわせながら予算編成を行い、併せて町財政の健全化を推進していく。実際の予算編成では、住民サービスの向上をどれだけできるのか、どの手法が経済的で最も効果があるのかを見極めながら予算編成を進めていく予定である。

再問

大規模開発の最たる事業・都市再生整備計画は、目標達成のため数々の事業が展開されているが、考えが少し遊離した位置で進められているのではないかと。第三期整備計画にのっとり29年度も予算に計上されるのか。

担当課長

二の丸広場の築地堀・トルレス広場・キリシタン供養碑千人塚公園の整備等の予定である。

再問

早い着手を求められている事業として上津深江川河口部港湾付帯施設「下向堤防」修繕工事がある。河川上流では、床上浸水の被害もあった。一刻も早い住民の不安解消のため対策を。

担当課長

「下向堤防」は洗掘により中詰めが吸い出され上部コンクリートが陥没したもので県へ相談したが修繕に伴う補助事業はないとのことであった。住民の方の不安解消のためにも町の財政状況を踏まえ対処したい。理解をお願いする。

議員全体会議

12月14日

協議事項

一 各常任委員、及び広報委員、候補者の選任

各常任委員会委員の任期は、荅北町議会委員会条例第3条で、「2年」と定められている。

現在の任期が、平成29年2月4日まで。正式には、任期が、来年度29年度の2月4日。1月6日以降に決定をする。

よって本日は、常任委員の候補者を選任する。

総務常任委員

野崎幸洋、浜口雅英、山本政人、山下時義

町民福祉常任委員

廣田幸英、高戸幸雄、松野重幸、石田みどり

建設経済常任委員

田嶋豊昭、錦戸俊春、松本良人、倉田明

広報委員会委員

野崎幸洋、山下時義、高戸幸雄、松野重幸、松本良人、錦戸俊春

二 県議長会の定期総会における各郡提出案件の協議
県町村議長会の定期総会に

おける各郡提出案件として、県への要望事項

熊本天草幹線道路の早期整備。
(広報委員会 石田)

議会活性化等会議

12月14日

第7回の荅北町議会活性化等検討特別委員会

膨大なアンケートの量の中から、私たちアンケート委員が検討を重ねまとめた。

色々のアンケートの答については、特別委員会で協議をし議会の活性化につながるようにつすめていきたい。

12月の21日に発行する。
(広報委員会 廣田)

【お詫びと訂正】

12月21日に発行いたしました「きずな特別号」議会アンケート調査結果報告中、3ページ【問3】のグラフで「感心が少ない」の割合は「46.4%が42.4%」、6ページ【問12】の文章中「18.4%は18.3%」の記載誤りでした。お詫びして訂正いたします。

傍聴記



高橋義道さん
(志岐)

私は平成二十八年第十一回定例町議会の第一日目を終日傍聴させていただきました。

町から諸報告がなされた後、六名の議員さんによる一般質問があり、各議員さんは、所定の持ち時間の

中で、各自が調べられた事や地域住民の方からの意見を鑑みられ、質問されました。

中には、質問事項が多く、一問一答方式の途中で時間切れとなる場面や、議長さんが「質問は簡潔に!!」と促される場面もありました。それほど議場は厳粛の中にも熱気ある状況であったと言えます。

質問される議員さんの考えと、答弁される担当課長の説明や田嶋町長の内容は整理されておりましたが、「果たして

議会では、特に町長の「天草における荅北町」への熱い思いが非常に強く伝わってきました。当議会での六名の議員さんの質問やこれに対する答弁については議会報告にて詳しく掲載されますので割愛いたしますが、今回強く感じた事は、私達住民と各議員さん、そして担当職員(事務方)及び町長他執行部の方々が共に意見を出し合い、知恵を結集するならば、必ずや「安心安全で生き生きと暮らせる町・第一次産業が生き残れる町・子育て対策から高齢者対策まで充実し、支え合える町・安心して働ける町・そして歴史の町

荅北」が構築されるという事です。

皆さん!!より良い荅北町を築くためにも一時でも議会の傍聴を始めましょう!!

今回、私は、私達が傍聴に参加する事だけでも町の活性化に繋がるとも考えました。